



憲法9条の会つくば

コミュニティーニュース

2007. 3. 18 No. 14

ゆい 結

発行 「憲法9条の会つくば」

〒305-0005 つくば市天久保1-10-12 1-401

電話 090-3811-3753 Fax 029-856-2286

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/index.html>

自民・公明だけでも強行？ 「憲法改正国民法案」 現状と問題点

強硬の中にブレの一面も？

「憲法改正国民投票法案」は、昨年（06年）5月に国会へ法案提出され、現在審議が続けられていますが、安倍首相が、自分の任期中に憲法改正を行いたい、そのためには今年5月3日の憲法記念日までに法案を成立させたいと発言して以来、早期成立に向けての動きを強めています。3月8日に開催予定であった公聴会の日程を決定する衆院憲法調査特別委員会が国民の世論等の反対で流会となり、さらに、11日の報道では、公明党や民主党が、13日の報道では安倍首相自身が、この春の統一地方選挙や7月に予定されている参院選をにらんで、強行審議や採決に対する批判を嫌って、5月3日までに国民投票法を成立させることに消極的な姿勢に転じた旨報じられており事態はやや流動的とも見えます。しかし、その一方で、自民・公明与党は、3月22日には公聴会を開くことを強行議決し、公聴会終了後は与党単独でも修正案を提出し、5月3日の成立を目指す勢いをゆるめていません。その背景には安倍首相の改憲への強い意志が働いていると言えますが、ここに来て、与党自民党の中にブレが生じているのもまた事実のようです。

継続審議でも変わらない本質

憲法に改正条項があるのだから、当然改正に当たっての手法として憲法改正国民投票法は必要であるとする意見があります。しかし、今回の動きは、憲法付属法令としての国民投票法の整備を目的とするのではなく、明らかに憲法改正を押し通しやすくすることだけを目的とするものですから、このような意見に正当性があるとは思えません。具体的な内容を見て、

投票率が低い場合の取り扱い（極めて低い投票率でも憲法改正が成立してしまうおそれがある）

国民投票にかかわる運動に関して、公務員、教員に対し地位利用を理由に厳しい言論統制が行われる危険性の存在、

マスメディアの活用について、国民に対する保障がなく、資金力の豊富な改憲政党に対してのみ保障されていること、

などから、公正な役割を期待することは困難で、問題点を多く抱えた法案であることは疑いありません。そのことから、憲法改正国民投票法案は廃案とすべきものと言い切れます。

しかし、最近の新聞に気になる記事が掲載されていました。多くの方が読まれたこととは思いますが、紹介します。すなわち、「今の国会の勢力では、法案の成立は目に見えている」との危機感から、むしろ「国民投票によって改憲案を葬るべきだ」とする見解です。そういえば9条の会事務局長の小森陽一東大教授も「国民投票が行われても勝てるような世論をつくる」という言い方をしているのですが、皆さんはどのように考えますか。（緒方章宏 日本体育大学）

「憲法9条を変える国民投票法案に反対する緊急市民集会」開きます。

本会は、市内の各種団体に呼びかけ、市民の意志を示す機会として、4月14日に緊急集会を市中心部で開催し、道行く人々にも訴える行動を行うことにしました。数百人の規模の意志表示になることを期待しています。

ぜひ参加を予定してください。下記、「活動予定」欄をご参照ください。

3月13日現在

賛同人 566名
(市内440名)

9条署名 3,078筆
国民投票法 2,300筆

活動予定

4月4日(日) 定例街頭署名活動

11時半～ 中央公園アルス図書館前集合

4月14日(土) “憲法9条を変える国民投票法案に反対する”
緊急市民集会

11時～ 竹園近隣公園（エポカル・学園カスミそば）

2月～3月 私たちの行動レポート

筑波地域の学習会 に参加して

2月24日、筑波山のふもと、筑波地域で「平和憲法を守りたい」と願う方々が開いた憲法学習会に参加させていただきました。20人近い地元の方々が出席され、盛況でした。

戦争体験をお持ちの飯村さんと米谷さんが、「軍隊は人間らしさを奪う、過酷な組織で、国民ではなく国体を守るためのもの」であったことを、具体的な事例を挙げて語られました。筆者は敗戦時、国民学校（小学校）3年生で、「日本軍は決して負けない神の軍隊だ」と固く信じていました。教育の力は実に偉大で、だから怖いものでもあります。

そのあと、憲法学がご専門の緒方章宏先生が、「易しい憲法9条の話」という題で憲法9条の価値と国民投票法案の問題点について、大田 光・中沢新一共著「憲法9条を世界遺産に」から言葉を引用して、わかり易くお話しして下さいました。特に私の心に印象強く残った言葉は以下です。

改憲派が言うように日本国憲法は決して押しつけられたものではなく、日本人がみずから選んだ思想である。つい最近、GHQの米国人が手本にした「憲法草案」を書いた平和主義者の日本人が主人公の映画が、テレビで詳しく紹介された。現憲法は敗者と勝者の合作だからこそ価値がある。

憲法9条は日本に唯一存在するもっとも理想的なものであり、だからこそもっとも現実的な平和構築の拠りどころであり、今、これを越える価値はどこにも見いだせない。

憲法9条は弱腰と嘲笑されるが、その部分にこそ誇りと価値があることを論戦の武器に。

全世界がこの憲法の価値に気付けば、人類と地球の寿命は確実に前進する。

憲法改正の発議は国会が行う（第96条）ことになっているのに、憲法遵守義務を負う特別公務員たる首相、国務大臣が改正を言うのは、まさに憲法違反行為である（第99条）。

さらに、自民・公明などの「国民投票法案」には、「最低投票率」が示されていないため、投票率が下がると、国民の「過半数」（96条1項）を大きく割り込んで、修正案成立という憲法違反が起きかねない。

また、憲法全体の「一括投票」にするのか、改正条項のみの「個別投票」にするのかが明きらかでない。

世論コントロールのためのメディア規制、教育者の憲法発言が地位利用行為などとして取り締まれる恐れがある。

最後に世話役の方から、「このような学習会を重ねる中で、地域に合った活動スタイルをよく検討してゆきたい」とのご挨拶がありました。この学習会、たいへん勉強になりました。「筑波地域」のみなさん、ありがとうございました。（樋田）

3月4日、月例の街頭署名での「ひとコマ」

ポカポカ陽気は強い味方

いくら暖冬でも、やっぱりこれまでは冬だったんだな、と感じられたポカポカ陽気のその日。署名活動の方はあいにく「9条つくば」のいつものメンバーが何人も不都合で、7人でアルスホール前並木道に集中して呼びかけを行っていました。7人とはいえ、これまでの経験と工夫を反映させ、街路樹に10本近い「9条」の幟旗と、飾り付けはハデです。そして、歩いてくる高齢者、自転車に乗った奥さんや若者、ジョギングのおじさんたちに近づき、静かに声をかけます。先月の強風のときは大違いに、道行く人々もゆったりした足取りで、その陽気のせい、いやそれだけでなく政治状況のせい（そう思いたい）署名に応じてくれる方が多数。自転車から降り、あるいはジョギングの足を止めて、対話に応じてくれた人。千葉から来たという数人の高齢者、全員が署名に応じてくれて、「お前さん方、選挙で自民党、公明党に投票するなよ」と連れで意見し合って去って行きました。筆者よりは若そうな高齢者の「意見」に、まんざらではないという思いがしました。

1さんは、いつものように5、6名の若者グループをつかまえて話し込み、結局全員から署名をもらいました。誰かが「署名のようなお願いごとは断られてからの対話が勝負」と言っていましたが、一見して「断られる」相手と思っても、引き込んでしまう話術、学びたいものです。これから有権者の過半数を「9条側」につけるために、ぜひ。

撮影されて・・・

参加者数のわりにはなかなかの大漁（表現が悪いですが）に気を良くし、そろそろ引き揚げましょうかとあたりを見回して、私たちの署名活動風景を写真に撮っていた若者に気付きました。さらに「9条」幟を写しているところに声をかけると、署名画板に下げている「憲法九条の会」のポスターを撮らせてくれと寄ってきました。「九条の会」代表9人の写真に興味があったのでしょうか。聞けば韓国から筑波大への留学生だそうで、日本国憲法第9条の価値をよく知っていて、「憲法9条は偉大だ、羨ましい」と落ち着いて話しました。私が「戦争であなただの祖国に償いきれないほどの悲惨な思いをさせて、まことにすみません」と、歯切れの悪い安部政権に代わってお詫びすると、彼は「あなた、戦争にゆきましたか」と尋ね、敗戦時9歳であったことを告げると、「あなたは悪い事、何もしていない」と言って去って行きました。彼はソウルに帰ったら私たちの「9条運動」のことを、写真を見せながら親族や友人たちに話すだろうか、さらに「平和を守る会」のような組織を立ち上げたりするだろうか。とにかく「憲法9条」は海外でも確かな輝きを持っているようです。（樋田）

竹園地域賛同人のつづやき・・・

「竹園の地域でもなんとかしなくては・・・」のつづやきがだんだん大きくなっています。思いは皆同じ、「月1回ともかく集まってみようか・・・」ちらしをまくことはすぐできるかも・・・最初の1歩がもうすぐです。

夢は日本全国ですが・・・

この会も設立から1年半が経ち、9条を守るための母体を作り上げることはできたかなと思います。しかし、有権者の過半数が「9条改悪反対」というところまで広げていくには、まだまだ遠い道のりです。賛同人みんなで知恵と力を出し合い、地域で職場で、一人でも多くの方に「9条を守ることの大切さ」を広げ、どこへ行っても「9条守れ」の風が感じられるようにしたい・・・これが私の夢であり願いです。

谷田部でチラシまき始める

「憲法9条かえていいのですか？」のつくばの会のオリジナルチラシと自由法曹団の「国民投票法反対読本」のパンフレットを私の住む団地にまきはじめました。300軒ほどあるので、10日くらいでまききりたいと、歩き回っています。実は、あるつくば市議がもう何年も前から、毎月「×の月例訪問号」を各戸に入れて行くのです。内容は例えば「美しい国日本を創りあげるためには優しい思いやりと道徳心が必要だ。」或いは「自衛隊を見学して大変感動した。」これが「ゼネコン絡みの汚職をなくすためにつくば市も一般入札制度となるよう働きたい」、「困りごとは何でも相談してほしい。力になりたい。」と表裏で書かれています。う？ん、これは戦争する「美しい国創り」？負けられません。他の賛同人の方にもチラシまきの声をかけようかと思っています。

コカリナとギターとうた 安川誠コンサート

いばらきコカリーナほか出演

日時： 5月3日(木) 13時開場、13:30開演

会場： つくば市図書館2F アルスホール (TXつくば駅の交差点のから東へ、中央公園を斜めに横切る)

参加費：1000円、高校生以下無料(要申込み)

安川誠：1954年博多生まれ。現在は長野県原村在住でコカリナ製作・販売。「あの日の授業」作曲者

「あの日の授業」とは・・・戦争が終わって、日本国憲法が制定されました。当時の文部省は、憲法を分かりやすく説明した副読本「新しい憲法のはなし」を作って子ども達に教えました。その授業のことを歌にしたのが「あの日の授業」です。「日本は2度と戦争をしないと決めた」ことを子どもたちに誇らしく語る先生の姿が感動的に伝わってきます。

連絡先：コカリナメッセージャー・小さな木の実 029-851-7404 (田中)

安川誠コンサートのおさそい

(田中宗男・サトエ)

憲法記念日に、このコンサートを企画したきっかけは、コカリナという小さな木の笛との出会いです。6年ぐらい前から、不思議な不思議なコカリナの連鎖が私たち夫婦をとりまいています。5年前に、息子が26才でこの世を去ったとき私たちは絶望のどん底にいました。色彩のない景色しか見えませんでした。なんとか、立ち直ることができたのは、息子が夢中になっていたコカリナのおかげです。

コカリナは長野冬季オリンピックの時から広く知られるようになりました。心を癒してくれる優しい音色が人々の心をとらえたのです。息子もその一人で、コカリナの第一人者である黒坂正文さんの弟子にしてもらって、長野各地で子ども達にコカリナを教えてまわりました。それはそれは楽しい活動だったと聞いています。黒坂さんは、ヒロシマの被爆樹でコカリナを作り、国内だけでなく世界各地でヒロシマの心を伝えていきます。私たちもこの笛を吹くようになって、息子の世界が見えてきました。息子は小さい頃から平和行進に参加したり、原爆ドームを見学したり、「は

だしのゲン」を良く読んでいましたから、平和への願いを強くもっていたのです。その願いを音楽や絵で表現し、たくさんの方々と交流していたことがいろいろ分かってきました。意欲にあふれた人生の半ばで病に見舞われてしまったことが残念でたまりません。

私たちは、息子と関わりの深いコカリナと音楽、それにつながる人たちと出会うなかで、息子のやりたかったことを理解できるようになりました。そして、このコンサートにたどり着きました。

コンサートにお呼びする安川誠さんは、コカリナの数少ない製作者で、息子が心を通わせた方です。しかも、知る人ぞ知る「あの日の授業」の作曲者だったのです。憲法記念日に、作曲者ご本人が歌う「あの日の授業」は、きっとみなさんの心を揺さぶることでしょう。是非、ご参加頂き、音楽に浸りながら、憲法60周年を祝い、平和に生きる喜びや命のすばらしさをかみしめていただけたらこの上ない喜びです。

戦争を想う 平和を想う

恵田 (つくば遊農)

巨象に立ち向かうアリに

いじめ、自殺、幼児虐待、親殺し、子殺し、夫殺し、妻殺し、誰でもいいから殺したかった殺人 など何ともいいようのないむごい、悲惨な事件が相次いでいる。

税金による政党助成金をたんまりもらい、金のかからない議員会館の事務所の経費として何千万円もかかったように申告。追及されてもまともに説明できない。厚顔無恥のバツジの面々。

史上空前の大儲けをしている大企業には減税をし、首切り、賃下げ、不安定雇用などきびしい生活を強いられている庶民には、増税・社会保障改悪、医療費アップなど生活をさらに圧迫する攻撃が次々に襲いかかってきている。そしていまや世界の流れである環境問題の取り組みには目もくれず、正義も道理もないイラク侵略に突入している“殺し屋”ブッシュに対しては、そのやることなすことにご無理ごもっともと戦争のできる国づくりを目指す安倍政権。こんなのが自分たちの国の政治をあずかるトップで“美しい国”なんて言っているのを見ると、何とも情けなくて、恥ずかしくてどうしようもない。世が世ならば暴動ものだ。しかし何も起こらない。なぜだ？

それはマスコミの影響によるものだと私は思う。テレビもラジオも新聞も雑誌も本当のことを伝えていない。部分的には大変な努力をしているものもあるが、大勢としては

大企業や権力にとって都合の悪いことは伝えていない。あたり障りのない伝え方しかしていない。

去年の8月、広島原爆記念式典の様子を伝えたNHKのニュース。朝のニュースこそそれこそ生で秋葉市長の平和宣言が伝えられた。しかしこの後繰り返されるニュースの中では“子どもの代表が献花”などになっていた。世界で最初に原爆の悲劇に遭ったその地から世界に向けて悲痛に訴えた宣言 名指しこそしないものの今もって軍力にもいわせて世界支配を目指そうとしているアメリカに対する痛烈な批判。それは記念式典の真髄なのだ。そのことこそくり返し報道すべきことである筈なのにそのことは伝えない。一般大衆は変わるはずがない。

ではどうする。巨象にアリー一匹でも立ち向かっていくことではないか。そんな思いを広げ、共有し、行動していくことではないかと思う。NHKには受信料は払わない。大新聞はよして地方紙に切り換える。タイムリーにそれをやる。

かつて日本経団連の奥田会長が消費税アップの花火をぶち上げたことがある。その時「あんなこと云う奴の、トヨタの車は買い替えの時は買わない」とアリが立ち向かうならば、そしてそれが広がるならば大いに効果がある筈である。さらに風評効果もある筈である。かく云う私めもまだ買い替えてはいない。しかし、着々と準備はしている。

憲法9条の会つくばはメーデーに参加します。

5月1日(火)つくば中央地区(詳細未定)

5月3日は憲法フェスティバル(水戸)

地元地域にも・小さなグループで

5月26-27日 並木公民館まつりでパネル展示計画中

カンパのお願い

「結」を含む会の宣伝物や通信費は賛同者の皆様のご協力により支えられています。

郵便振込み口座:番号 00100-3-742235

加入者名:憲法9条の会つくば

本会世話人会の体制組み直しとともに、本紙「結」を隔月発行体制に変えます。

次号の発行は5月の予定です。引き続き多彩なご意見、原稿をお寄せいただけるよう期待しています。

編集後記

今冬は、ほとんど雪を見ることなく、桜ももつすく、巣立ちの春です。二〇〇四年三月、ある都立高校で、三〇才代の担任の体育の先生は卒業生に語った。彼は卒業式で、職務命令に反して「国家」斉唱時に起立しなかった。「なぜ立たなかったか」とうとね、立たないと処分するぞって言われたからなんだ、もし座ってないと処分するぞって言われたら・立っていたでしょう。そして「みんなは自由ですか?」「言論の自由をもつていても、話したい時に話さないのは、その自由はないに等しい」「自由はたつとい、命もたつとい。相手の自由も、自分の自由も大切。大切にしなければならぬことであるよね。護らねばならぬことであるよね」。それを聴いた生徒達からは共感の大きな拍手がわきあこった。

今年も卒業式で「君が代」が強制されたのでしよう。今「個人の自由」が「人権」が無視されようとしています。「女性には産む機械」「人権メタボリック」と言った閣僚の本音発言、それを擁護する安倍首相自らも「従軍慰安婦の強制連行の証言はない」と本性露わ発言。狙いは「国家の都合」に従う「健全・善良」な国民。そんなことは決して許したくないです。まずは「人権軽視」内容の「憲法改悪のための国民投票法」を廃案にさせましょう。

(清)